

福祉生活病院常任委員会資料

(令和3年12月17日)

【件名】

- 1 新型コロナウイルス感染症への対応について
(新型コロナウイルス感染症対策推進課) . . . 2
- 2 新型コロナウイルスワクチン接種に向けた取組状況について
(新型コロナウイルスワクチン接種推進チーム) . . . 3

新型コロナウイルス感染症対策本部事務局

新型コロナウイルス感染症への対応について

令和3年12月17日
新型コロナウイルス感染症対策推進課

1 県内における感染者の発生状況

累計感染者数（12月17日現在、発表日ベース）

1,669名（鳥取市保健所762名・倉吉保健所194名・米子保健所713名）

※11/12発表（11/11陽性確認）以降、35日間新規感染者なし

2 オミクロン株への対応

（1）スクリーニング検査及び全ゲノム解析

○L452R変異スクリーニング検査を利用しオミクロン株疑い例の早期把握（県衛生環境研究所で実施）

- ・L452R変異陰性時（オミクロン株の可能性あり）は直ちに全ゲノム解析を実施し確定（陽性時（L452R変異陽性であればデルタ株疑い）の検体についても念のためゲノム解析を実施）

※オミクロン株検出用のスクリーニング検査キットが開発され次第、検査方法を変更

（2）オミクロン株陽性者、接触者等への対応

○陽性者への対応

- ・原則、全員入院
- ・従来株（デルタ株等）陽性者とオミクロン株陽性者は、別室で入院（オミクロン株同士であれば同室可）
- ・当面、2回連続PCR検査陰性を確認された後、退院

○接触者等への対応

- ・オミクロン株陽性者（疑い例を含む）と同一の航空機に搭乗していた県内滞在者には、濃厚接触者に位置付けられる期間中（最終接触日から14日間）、宿泊療養施設での待機を要請
- ・原則、2日に1回（体調不良時は随時）PCR検査を実施
→県内に濃厚接触者が確認され次第、宿泊療養施設を立ち上げられる体制を準備済

（3）オミクロン株確認時の情報提供

○「オミクロン株感染警戒情報」の発令

- ・県内でオミクロン株の感染が確認され一定の広がりがみられる場合に発令

○近県ともオミクロン株の感染状況を情報共有

3 第6波に向けた医療体制の強化

○医療関係者に対する新型コロナウイルス感染症の治療法に関するオンライン研修会を実施

- ・開催日時 12月9日 午後6時30分から午後8時
- ・講師 鳥取大学医学部臨床感染症学講座 千酌教授
- ・参加者 入院協力医療機関等から95名参加
- ・内容 患者治療の実例とその治療方針決定上の参考情報の紹介、質疑応答

○今後、対面診療、後遺症等に関する医療関係者向けの研修を実施予定

新型コロナウイルスワクチン接種に向けた取組状況について

令和3年12月17日
新型コロナウイルスワクチン接種推進チーム

1 追加接種（3回目接種）について

(1) 対象者

- 初回接種（1・2回目接種）の完了から原則8か月以上経過した18歳以上の者
⇒ 8か月を待たずにできる限り前倒しできるように、国において、優先度に応じ前倒しの範囲や方法を検討中である。
⇒ 国が前倒しの方針を決めたら可能な範囲で速やかに前倒しできるように、市町村や医療機関と連携を図っていくこととしている。

(2) ワクチンの種類

- 初回接種（1・2回目接種）で使用したワクチンの種類に関わらず、mRNAワクチンを使用する。（当面、ファイザー社製ワクチンを使用）
⇒ モデルナ社製ワクチン（mRNAワクチン）についても追加接種に使用されることとなる見込み。

(3) 本県における追加接種（3回目接種）の体制

- 病院についてはすべての病院が自院で接種、医科診療所については約7割が自院での接種を希望、その他の医療従事者及び高齢者等については、市町村の設置する集団接種会場、個別接種で順次接種する予定。
- 各市町村で、ファイザー社製とモデルナ社製の2種類のワクチン両方を取り扱う。
- 職域接種は、初回実施の団体に対して継続実施を依頼するとともに、県の支援を引き続き実施する。
- 市町村の負担軽減を図るため、県営接種会場を設ける。

(4) 追加接種（3回目接種）の実施状況

12月1日から鳥取医療センター及び米子医療センターを皮切りにスタート。12月14日現在、717件が接種済（すべてファイザー社製ワクチン）

(5) 職域追加接種（3回目接種）の推進

- 現在、15会場が職域追加接種の意向を示しているところである。
⇒ 県が間に立って共同接種体制の構築や他の職域団体とのマッチングを実施し、運営コストの圧縮や効率化、職域団体の事務負担の軽減を図り、さらなる参加促進を図ることにより、市町村・医療機関の負担軽減を図る。

(6) 県営接種会場の設置

市町村の負担軽減を図るため、県内3圏域に県営臨時接種会場を設置し、モデルナ社製ワクチンを使用して追加接種（3回目接種）を行うよう調整中である。
追加接種（3回目接種）のみならず、初回接種（1・2回目接種）者への対応も継続して実施し、ワクチン未接種者への接種機会を確保する。

2 初回接種（1・2回目接種）について

(1) 鳥取県へのワクチンの供給状況(11/21時点)

ファイザー社	モデルナ社	アストラゼネカ社	合計
810,030回分	110,200回分	200回分	920,430回分

⇒鳥取県12歳以上の接種対象人口に対して9割以上の充足率

(2) 接種の状況（12/14現在）

(ア) 接種の状況

年代	人口	接種回数	うち1回目	うち2回目
全年代	556,788人	847,179回	426,730回	420,449回
65歳以上高齢者	178,268人	323,267回	161,958回	161,309回
65歳未満	378,520人	523,912回	264,772回	259,140回

(イ) 年代別接種状況

年代	1回目	2回目	合計	対象人口 (住基本人口)	1回目接種率	2回目接種率
0～11歳	—	—	—	54,489人	—	—
12～19歳	29,571回	28,741回	58,312回	40,663人	72.7%	70.7%
20代	35,609回	34,810回	70,419回	47,353人	75.2%	73.5%
30代	43,563回	42,727回	86,290回	58,234人	74.8%	73.4%
40代	60,550回	59,634回	120,184回	74,205人	81.6%	80.4%
50代	58,767回	58,003回	116,770回	66,546人	88.3%	87.2%
60代	70,227回	69,539回	139,766回	78,780人	89.1%	88.3%
70代	70,477回	69,773回	140,250回	74,402人	94.7%	93.8%
80代以上	57,966回	57,222回	115,188回	62,116人	93.3%	92.1%
合計	426,730回	420,449回	847,179回	556,788人	76.6%	75.5%
接種対象人口				502,299人	85.0%	83.7%

※母集団となる人口データは、総務省 Web サイトの「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」で公開されている「【総計】令和3年住民基本台帳年齢階級別人口（市町村別）」を利用
 ※接種数は「内閣官房 IT 総合戦略室」のデータを集計

(3) 県が設置する臨時接種会場

市町村が実施するワクチン接種を後押しし、接種を加速させるため、若者をはじめ多くの県民が接種に行きやすい土日に県営の臨時集団接種会場を開設している。

接種実績（11/28 時点）

ワクチンの種別	接種状況			内 訳			予約なし接種
	1回目	2回目	一般枠	優先枠			
				若年層	妊婦等	アレルギー等	
モデルナ社製	2,428人	2,266人	4,150人	278人	23人	—	243人
アストラゼネカ社製	21人	21人	33人	—	—	9人	—

※一般枠を含めると全体の約2割が12～39歳までの若年層である。

(4) 職域・大学等における接種

ワクチン接種に関する市町村の負担を軽減し、加速化を図っていくため、企業や大学等において職域（学校を含む）単位でモデルナ社製ワクチンの接種を行うことが可能とされ、県内でも6月21日から職域接種を開始し、11月20日にすべての会場で接種が完了した。

(ア) 接種実績（11/24 時点）

対象人数（34 団体）	1回目	2回目
73,400人 （うち一般開放枠 24,955人）	47,801人	47,576人

(イ) 一般開放枠における優先枠等予約・受付状況

予約なし	優先枠に対する予約状況				
	寮生	妊婦等	子ども	親子	学生
964人	93人	36人	15人	36人	18人

※優先枠の予約実績については、県で接種実施団体に聞き取りを行った数字。

(5) ワクチン接種の促進に向けた取組

(ア) 接種勧奨、情報提供の促進

オミクロン株の感染拡大や第6波に備え、改めて1・2回目接種についても引き続き接種の検討を呼び掛ける取組を市町村、医師会、県で協力して実施する。

- ・未接種者へのダイレクトメールなどによる個別勧奨
- ・LINEを利用した接種会場の情報周知
- ・オミクロン株にも有効な情報を各種媒体で発信 など

(イ) 県営臨時接種会場の追加開設

市町村が実施するワクチン接種を後押しし、接種を加速させるため、県東部において県営の臨時接種会場を開設しているところであるが、このたび、オミクロン株などの感染拡

大に備え、ワクチン未接種者や2回目の接種機会を逃した方のため、中部及び西部にも県営臨時接種会場を追加で設置することとした。

	東部（継続設置）	中部（追加設置）	西部（追加設置）
会場	新日本海新聞社本社ビル （鳥取市富安2-137）	倉吉シティホテル （倉吉市山根543-7）	鳥取県西部総合事務所 （米子市糺町1-160）
1回目接種日	12月19日（日）	12月19日（日）	12月25日（土）
2回目接種日	1月15日（土）	1月16日（日）	1月22日（土）
受付時間	午前10時20分から正午まで	午前10時から正午まで	午後6時から8時まで
ワクチンの種類	武田／モデルナ社製ワクチン		
接種対象者	初回接種（1・2回目接種）が未接種の12歳以上の鳥取県民 ※16歳未満は要保護者同伴		
予約方法	鳥取県公式ホームページから申し込み		
優先枠	・若年層（12歳以上40歳未満）とその同居家族 ・妊娠中の方とその同居家族		
その他	各会場において「予約なし接種」も実施		

（6） 予防接種法に基づく医療機関からの副反応疑い報告状況について
報告件数

区分	鳥取県(12月12日現在)			全国(11月14日現在)		
	ファイザー	モデルナ	アストラゼネカ	ファイザー	モデルナ	アストラゼネカ
ワクチンの種類						
推定接種者数 (回分)	750,331回	96,898回	47回	163,059,502回	31,768,352回	101,502回
副反応疑い件数	59件 (0.008%)	3件 (0.003%)	0件 (0.000%)	25,522件 (0.016%)	3,919件 (0.012%)	12件 (0.012%)
うち死亡報告数	10件 (0.001%)	0件 (0.000%)	0件 (0.000%)	1,315件 (0.001%)	53件 (0.000%)	0件 (0.000%)
うちアナフィラキシー報告数	15件 (0.002%)	0件 (0.000%)	0件 (0.000%)	3,012件 (0.002%)	504件 (0.002%)	5件 (0.005%)